



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 本州化学工業株式会社

コード番号 4115 URL <http://www.honshuchemical.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 船越 良幸

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 和智 達也

TEL 03-3272-1482

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日

平成23年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	8,497	3.7	1,044	16.9	1,029	2.3	612	11.2
23年3月期第2四半期	8,197	25.7	893	—	1,006	—	550	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 448百万円 (13.0%) 23年3月期第2四半期 396百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	53.36	—
23年3月期第2四半期	47.96	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	19,737	—	12,831	—	—	60.3
23年3月期	19,780	—	12,498	—	—	58.3

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 11,901百万円 23年3月期 11,538百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	6.00	—	10.00	16.00
24年3月期	—	6.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	10.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,500	15.4	2,000	5.2	2,000	0.9	1,000	2.4	87.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	11,500,000 株	23年3月期	11,500,000 株
24年3月期2Q	18,493 株	23年3月期	18,493 株
24年3月期2Q	11,481,507 株	23年3月期2Q	11,483,505 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(6) 重要な後発事象 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における経済環境は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災により生産・物流機能の停滞や電力供給制限など深刻な事態が生じ厳しい状況となりましたが、当社グループにおきましては、その影響をほとんど受けることなく生産・販売活動において支障を生じることはありませんでした。しかしながら、当社グループを取り巻く事業環境は、当社の主力製品と関連のあるIT・デジタル製品の一部について需要減退による生産調整が行われるとともに、急激な円高の進行や原油価格の高騰に見舞われるなど、依然として予断を許さない不透明な状況となりました。

このような状況のもとで、当社グループは、顧客への安定供給に努めるとともに、収益の改善・向上を図るため、主力製品の拡販と経営全般にわたるコスト競争力の強化等に全力を傾注してまいりました。

その結果、売上高は8,497百万円（前年同四半期比3.7%増）となり、営業利益は1,044百万円（同16.9%増）、経常利益は1,029百万円（同2.3%増）、四半期純利益は612百万円（同11.2%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### <化学品>

##### ・トリメチルフェノール

クレゾール誘導品の主力製品であるトリメチルフェノールは、主に家畜用飼料の添加剤に使用されるビタミンEの原料として中国及び欧州向けを中心に輸出しております。

当第2四半期においては、中国及び欧州向けのいずれも、前年同期に比べ販売数量が大幅に減少したため、売上高は前年同期を大きく下回りましたが、これは、前年同期の前半において、欧州の供給サイドのトラブル発生に伴う当社からの緊急出荷という特殊要因により、販売数量が一時的に増加したことによるものであります。

##### ・その他クレゾール誘導品

酸化防止剤の原料である3M6Bは、上記のトリメチルフェノールと同じ特殊要因により売上高が前年同期に比べ大幅に減少しましたが、酸化防止剤の精製BHTは、当上半期の後半において堅調な需要を背景に販売数量が前年同期に比べ増加したため、その他のクレゾール誘導品全体の売上高は、ほぼ前年同期並みとなりました。

##### ・ビフェノール

フェノールは、パソコン・携帯電話等のIT関連機器やデジタル家電の電子部品に用いられる耐熱性・精密成形性に優れた液晶ポリマー（LCP）の原料として使用されております。

当第2四半期においては、引き続きIT関連機器やデジタル家電の堅調な需要を背景に、国内販売が好調に推移したため、売上高は前年同期を上回りました。

##### ・ビスフェノールF

ビスフェノールFを使用したエポキシ樹脂は、加工性と金属接着性に特に優れており、ノンハロゲンタイプの難燃性積層板や粉体塗料等の土木・建設材料用途に使用されております。

これまで電子部品向けを中心とした堅調な需要を背景に順調な販売を続けておりましたビスフェノールFは、当第2四半期の後半に入り、ユーザーでの生産・在庫調整に伴う需要鈍化の影響を受けましたが、当第2四半期の前半における好調な販売により、当第2四半期全般の売上高は、前年同期を上回りました。

この結果、化学品セグメントの当第2四半期における売上高は3,974百万円（前年同四半期比3.6%増）、セグメント利益は155百万円（同59.5%減）となりました。

#### <機能材料>

##### ・フォトレジスト材料

フォトレジスト材料は、半導体及び液晶ディスプレイ（LCD）の製造過程で使用されております。

フォトレジスト材料は、IT関連機器やデジタル家電の需要動向に大きく影響を受ける製品であります。当第2四半期においては、半導体用のフォトレジスト材料は、概ね堅調な販売であったものの、LCD用のフォトレジスト材料は、LCD需要の冷え込みにより液晶パネルメーカーでの生産・在庫調整が行われたこともあり、販売数量が大幅に減少しました。その結果、当第2四半期におけるフォトレジスト材料の全体の売上高は、前年同期に比べ大幅に減少しました。

##### ・特殊ビスフェノール

特殊ビスフェノールは耐熱性、光学特性に優れており、自動車用部品や光学・電子部品用途向け特殊ポリカーボネート樹脂やエポキシ封止材・積層板用途向け特殊エポキシ樹脂の原料として使用されております。

当第2四半期においては、引き続き光学・電子部品用途向けを中心に需要が概ね堅調に推移したため、売上高は、前年同期に比べ増加しました。

この結果、機能材料セグメントの当第2四半期における売上高は、2,102百万円（同4.7%減）、セグメント利益は712百万円（同14.3%増）となりました。

#### <工業材料>

##### ・特殊ビスフェノール

自動車用部品向けの特殊ポリカーボネート樹脂の原料に使用される特殊ビスフェノールは、主に海外生産拠点のハイビス社において製造販売されており、当第2四半期においては、引き続き旺盛な需要を背景に販売数量が大幅に増加したため、売上高は、前年同期を大きく上回りました。

##### ・受託品

当第2四半期においては、受託数量が減少したため、売上高は、前年同期に比べ減少しました。

この結果、工業材料セグメントの当第2四半期における売上高は、2,342百万円（同12.5%増）、セグメント利益は399百万円（同14.7%増）となりました。

#### <その他部門>

販売用役（蒸気）等のその他部門の売上高は、78百万円（同11.7%増）となり、セグメント利益は19百万円（同17.7%増）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて42百万円減少し、19,737百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金の増加（629百万円）、商品及び製品の増加（363百万円）等により、前連結会計年度末に比べて780百万円増加し、12,124百万円となりました。

固定資産は、機械装置及び運搬具の減少（△743百万円）等により、前連結会計年度末に比べて822百万円減少し、7,613百万円となりました。

負債合計は、未払法人税等の減少（△296百万円）、退職給付引当金の減少（△133百万円）等により、前連結会計年度末と比べて375百万円減少し、6,905百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加（497百万円）、為替換算調整勘定の減少（△135百万円）等により、前連結会計年度末に比べ333百万円増加し、12,831百万円となりました。

この結果、自己資本比率は60.3%となり、前連結会計年度末に比べて2.0ポイント上昇しました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績予想につきましては、本日別途公表いたしました「平成24年3月期第2四半期連結累計期間業績予想値と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### ① 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

#### ② 税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に見積実効税率を乗じて計算しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,570	4,200
売掛金	3,981	3,891
商品及び製品	2,548	2,912
仕掛品	355	386
原材料及び貯蔵品	634	534
その他	253	199
流動資産合計	11,344	12,124
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	5,236	4,492
その他（純額）	2,239	2,215
有形固定資産合計	7,476	6,708
無形固定資産		
投資その他の資産	113	81
その他	850	823
貸倒引当金	△4	—
投資その他の資産合計	846	823
固定資産合計	8,436	7,613
資産合計	19,780	19,737
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,807	1,810
短期借入金	1,000	1,000
1年内返済予定の長期借入金	—	1,400
未払法人税等	646	349
役員賞与引当金	25	12
その他	999	1,106
流動負債合計	4,479	5,678
固定負債		
長期借入金	1,400	—
退職給付引当金	1,240	1,106
役員退職慰労引当金	94	41
その他	67	78
固定負債合計	2,802	1,227
負債合計	7,281	6,905

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,500	1,500
資本剰余金	1,013	1,013
利益剰余金	9,123	9,621
自己株式	△11	△11
株主資本合計	11,625	12,123
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4	5
為替換算調整勘定	△92	△227
その他の包括利益累計額合計	△87	△221
少数株主持分	960	930
純資産合計	12,498	12,831
負債純資産合計	19,780	19,737

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	8,197	8,497
売上原価	6,542	6,639
売上総利益	1,654	1,858
販売費及び一般管理費	761	813
営業利益	893	1,044
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	22	2
企業立地奨励金	8	6
スクラップ売却益	2	3
その他	151	2
営業外収益合計	184	16
営業外費用		
支払利息	25	15
撤去費用	5	12
その他	40	3
営業外費用合計	71	30
経常利益	1,006	1,029
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	16	—
特別損失合計	16	—
税金等調整前四半期純利益	990	1,029
法人税等	352	336
少数株主損益調整前四半期純利益	637	692
少数株主利益	86	80
四半期純利益	550	612

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	637	692
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5	1
為替換算調整勘定	△235	△245
その他の包括利益合計	△240	△244
四半期包括利益	396	448
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	417	477
少数株主に係る四半期包括利益	△21	△29

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	化学品	機能材料	工業材料	計				
売上高								
外部顧客への売上高	3,837	2,206	2,082	8,126	70	8,197	—	8,197
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	26	26	—	26	△26	—
計	3,837	2,206	2,108	8,152	70	8,223	△26	8,197
セグメント利益	384	623	348	1,356	16	1,373	△480	893

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、販売用役等を含んでおりません。

2. セグメント利益の調整額△480百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△480百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	化学品	機能材料	工業材料	計				
売上高								
外部顧客への売上高	3,974	2,102	2,342	8,418	78	8,497	—	8,497
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	3,974	2,102	2,342	8,418	78	8,497	—	8,497
セグメント利益	155	712	399	1,268	19	1,288	△243	1,044

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、販売用役等を含んでおりません。

2. セグメント利益の調整額△243百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△243百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。